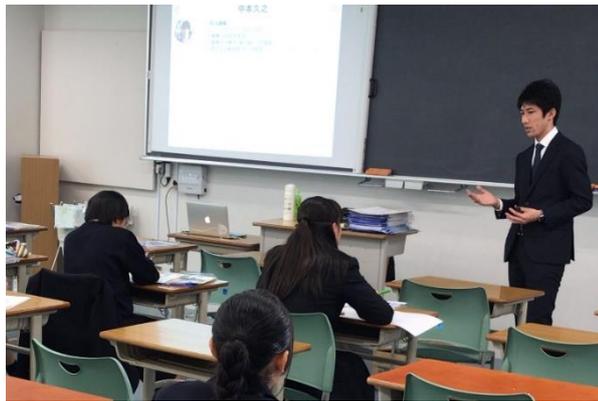


○帝京平成大学 中本久之先生による講義の様子と生徒の感想



講義名：「覗いてみよう！知っているようで知らないリハビリテーションの世界」

☆生徒から講師の先生へのお礼と感想

1年 A.Yさん

本日はこのような時間をいただきありがとうございました。

今回の講義では、大学やリハビリテーションについての説明をしていただきました。

私は、リハビリテーションについて始めは良く分かりませんでした。今回の講義を通じて作業療法と理学療法の違いについて知ることができました。そして、リハビリテーション学は、病気になった人以外にも子供や高齢者などたくさん悩み事や不安、先が見えない人々をサポートしていく仕事だと分かりました。

リハビリテーションにとって、「幸せになることをサポートする」ことは大切であり、患者さんが「どうしたら豊かに過ごせるか」を考え、きちんと寄り添うことも必要であると考えました。また、この仕事は「国を支える部分でもある」と聞き、とても重要で責任がある仕事だと思い、魅力を感じました。

最後に進路と将来についてのお話を伺い、自分の好きなことや就きたい仕事について考えていきたいと思いました。本当にありがとうございました。

1年 H.Nさん

今回の講義でリハビリテーションについて深く知ることができました。私は今まで、リハビリと看護にはどのような違いがあるのか疑問に思っていました。しかし今回の講義で、リハビリは怪我を治すだけではなく、身体の不自由な人が普通の生活を取り戻せるようにサポートしていく職でもあることを知り、驚きました。先生は、「人生を有意義に過ごし、幸せになることをサポートする」という言葉を何回も繰り返しておっしゃっていました。身体の不自由な人をサポートするだけではなく、「幸せをサポートする」ということに、リハビリという仕事の暖かさをより強く感じました。人をサポートするためには体の知識や技術も大切ですが、私はコミュニケーション能力が1番大切なのではないかと思いました。